

平成 29 年度  
経済学部地域経済研究センター  
学生チャレンジ地域連携  
プロジェクト研究助成  
最終報告書

研究課題名

「企業が行う地域貢献活動の実態と効果」

佐賀大学経済学部  
小西ゼミナール

2017 年 2 月 9 日

2018 年 2 月 9 日  
佐賀大学経済学部経済学科

研究代表者  
氏 名 下坂 恵夢

---

**I 研究課題名**

企業が行う地域貢献活動の実態と効果

---

**II 調査・研究従事者**

学 籍 番 号	氏 名	学 籍 番 号	氏 名
■■■■■	青木史織	■■■■■	赤坂公洋
■■■■■	境将太郎	■■■■■	石井菜生子
■■■■■	下坂恵夢	■■■■■	岩本翼
■■■■■	武富有平	■■■■■	児玉志織
■■■■■	中尾健太郎	■■■■■	小林隆太
■■■■■	中園優樹	■■■■■	竹山晃平
■■■■■	林田和透	■■■■■	鶴田正人
■■■■■	前田真衣	■■■■■	平坂恵理
■■■■■	山口大二郎	■■■■■	丸田萌子
■■■■■	力久雄介	■■■■■	森山達也

調査・研究従事者数 20 名

## 目次

本研究の目的と成果	p.1
CSR・ESG 投資信託と企業の地域貢献	p.3
I    CSR	p.4
II   ESG 投資信託	p.15
地域貢献活動に携わる企業への訪問	p.20
株式会社 Faber Company	p.21
株式会社 友樹飲料	p.25
トヨタカローラ佐賀 株式会社	p.29
レグナテック 株式会社	p.35
石丸食肉産業 株式会社	p.40
佐賀トヨペット 株式会社	p.44
イオンモール 佐賀大和	p.48
株式会社 佐賀共栄銀行	p.53
損害保険ジャパン日本興亜 株式会社	p.58



## 本研究の目的と成果

わが国において、従前より、「株式会社は誰のものか」ということが議論となり、株式会社は株主のものであると主張する見解が、とくにファンドなどの機関投資家から主張されてきました。確かに、法律上、株式会社に出資している株主が会社の所有者であるとはいえ、株主の利益のみを図ることが当然とは思われません。株式会社は、株主・取締役・従業員・会社債権者・会社の取引先のように直接的な利害関係がある者だけではなく、消費者・地域社会・行政機関などを含むさまざまなステークホルダー（利害関係者）に配慮することが重要であると主張する声も大きくなっています。

本研究は、ステークホルダー（利害関係者）のうち地域社会に焦点をあて、株式会社は地域社会とどのように関わっていくべきかについて研究したものです。

本研究は大きく2つのパートに分かれています。

前半では、まず CSR（企業の社会的責任）を取り上げています。CSR については、その定義もまだはっきりとは確立していませんが、企業の社会貢献が含まれることに異論はないと思われ、株式会社と地域社会の関係性を論じるうえで欠かせない論点です。次に、近年よく聞かれるようになった ESG 投資信託を取り上げています。Environment（環境）・Social（社会）・Governance（企業統治）をテーマにしたこの投資信託は、地域社会への貢献活動に熱心な企業が組み込まれる可能性が高く、このような企業の取り組みも大いに参考になると考えています。

研究の後半は、佐賀県に拠点を置く企業が実際にどのような地域貢献活動を行っているのか、企業におもむいて調査を行ったものをまとめたものです。過去2年間の佐賀新聞の記事に掲載されていた地域貢献活動からいくつかピックアップして企業を訪問し、地域貢献活動の内容・活動に取り組む理由・活動にかかった費用・活動を行ったことによるメリットなどについてお伺いしました。調査を行った結果、活動の内容は多岐にわたっていることが明らかとなりました。その内容は事業内容に関係するものもあればしないものもありますが、地域のニーズをくみ取りながら活動の内容を決めていることが多いように思われます。また、活動の継続性を重視する企業が多くありました。

一般的に、企業は地域に貢献すべきか、また地域貢献活動の内容に適切なものまたは不適当なものはあるのか、などを検討するのは今後の課題となりますが、今回の研究をその検討のための一助としたいと思います。

本研究にあたり、お忙しいところ地域貢献活動に熱心な企業をご紹介してくださり、また各企業との橋渡しをしてくださった佐賀県企業立地課 古賀大輔様にはお礼を申し上げます。

また、お忙しいところ時間を割いていただきました企業の皆様にもお礼を申し上げます。  
ありがとうございました。

## CSR・ESG 投資信託と企業の地域貢献





# I CSR

## 1 CSRとは

CSR = Corporate Social Responsibility (企業の社会的責任)

CSRとは、「企業組織と社会の健全な成長を保護し、促進することを目的として、不祥事の発生を未然に防ぐとともに、社会に積極的に貢献していくために企業の内外に働きかける制度的義務と責任」と定義される<sup>1</sup>。

この定義からわかるように、今日注目されているCSRにおいては、企業の持続的な発展を目的とすること、多様なステークホルダー（利害関係者）への対応を考慮することが特徴的と言える。

CSRは、法律を守るといった当然の責務から、積極的に企業の経営資源を活用して社会を改善するといったレベルまでいろいろある。そこで、このCSRのレベルとして法的責任、経済的責任、倫理的責任、社会貢献的責任の4つを考える必要がある。

まず、法的責任は、法律を守るといった当然の責務であり、強制的責任とも位置づけられる。「法は倫理の最下限」という言葉が示しているとおおり、社会的存在として認められた企業が果たすべき最低限度の責任である。多くの企業が法令に違反した企業行動をとることを禁止していることからその重要性は理解される。この法的責任をCSRの範囲に含めない論者も多いが、コンプライアンス関連の企業不祥事が多々発生している現状に鑑み、CSRにおける基盤となる責任レベルに位置づけている。

つぎに、法的責任が遂行された段階では、企業は経済的責任を果たさなければならない。これは、企業本来の機能を全うすることを意味し、経営資源を効率的に利用して良質・安価な財やサービスを消費者に提供して利潤をあげ、株主には適正な配当を、従業員には労働の対価としての賃金・報酬を支払い生活水準の向上を保証することである。このなかには、公正な競争や取引きを行うこと、国家・地域社会に対して税金を支払うことも含まれ、企業を取り巻くステークホルダーに対する経済的責任をさす。

また、倫理的責任は、企業が活動するうえで社会に与える影響について責任を持つことである。法律の規制を超えたところでの業界や企業独自の倫理観にもとづく自主基準や自主規制による責任である。例えば、公害・事故への対応などもこの責任に含める。この倫理的責任には、人権・労働環境、消費者対応、地球環境保護などの領域から考えることができる。

---

<sup>1</sup> 水尾順一・田中宏司『CSR マネジメント ステークホルダーとの共生と企業の社会的責任』（生産性出版、2004年）、蟻生俊夫「CSRの概念とCSRイニシアチブ：ステークホルダーの安全の視点からの対応」『安全工学』45巻5号（2006年）。

さらに、社会貢献的責任は、上記までの法的責任、経済的責任、倫理的責任を超えて、企業の能力を社会的な問題の解決に役立てることである。消費者利益の保護、社会貢献・文化支援活動への取組み、そして、地球環境保護さらには積極的な貢献活動への取組みなど、ポジティブな活動も含んだ考え方である。社内に対しては、ボランティア休暇制度の支援や、地域社会に対する支援など、従業員を重視したり、社会貢献活動をバックアップしたりするプログラムであり、社会的に望ましい活動として戦略的発想で取り組む必要がある<sup>2</sup>。

## 2 CSR の具体的な内容

東洋経済新報社は、毎年、「東洋経済 CSR 企業ランキング」を公表している。その目的は、CSR と財務の両面から幅広いステークホルダーから「信頼される会社」を見つけることにある。ここでは、2017 年（第 11 回）の総合ランキングの上位 20 社および業種別ランキングの第 1 位の会社が行っている具体的な CSR の内容について、地域貢献活動を中心に比較・検討する。

### (1) 総合ランキングの上位 20 社

#### 1 位 富士フィルムホールディングス株式会社

- ・マイクロフィルムを使って、貴重な文化財・美術品の記録保存
- ・地域の環境を守る南阿蘇「水田お助け隊」に参加
- ・富士フィルム九州「さくら祭り」を開催
- ・「南阿蘇えほんのくに」笑顔をとどけるブルービーフェスタ
- ・南阿蘇の水源かん養林植栽完了と「えほんのくに」支援
- ・南阿蘇村での水源かん養林整備（植林）を推進
- ・近隣の小学校で、写真づくり体験教室
- ・「みどりの小道」環境日記に協賛
- ・「聞き書き甲子園」に協賛
- ・中国植林ボランティア
- ・「公益信託富士フィルム グリーンファンド」を設立 etc

#### 2 位 株式会社ブリヂストン

- ・ファミリーセーフティ体験
- ・地域の交通安全活動に協力
- ・ブリヂストンこどもエコ絵画コンクール
- ・エコピアの森

---

<sup>2</sup> 蟻生俊夫、前掲（注 1）

- ・ブリヂストン環境ものづくり教室
- ・地域清掃活動
- ・東日本大震災復興支援ボランティア
- ・「夢のつばさプロジェクト」への特別協賛
- ・ちょボラ募金
- ・イルカの人工尾びれの製作
- ・献血活動
- ・熊本地震 店頭募金活動
- ・小学校へのタイヤ寄贈
- ・エコキャップ回収活動
- ・サッカー教室 etc

### 3位 KDDI 株式会社

- ・スマホを使った災害訓練実践授業の実施
- ・高校生らとスマホ依存解消アプリをコラボ開発
- ・聴覚障害者を対象にした、IT 教室
- ・東日本大震災 復興支援活動
- ・「KDDI 復興支援マルシェ」
- ・タブレット教室
- ・九州北部豪雨被災地支援ボランティア活動
- ・高尾山森林保全活動 etc

### 4位 株式会社小松製作所

- ・事業所の開放（体育館・グラウンド・テニスコートなど）
- ・コマツテクノセンター「はたらくのりものちびっこ見学会」
- ・女子柔道部を創設し、世界の柔道普及発展に貢献
- ・少年柔道教室
- ・「日本花の会」の支援 etc

### 4位 株式会社 NTT ドコモ

- ・被災地支援活動
- ・モバイルインターネットを活用して社会課題の解決に取り組む起業家を支援
- ・清掃活動
- ・献血への協力
- ・ペットボトル回収活動
- ・絵画コンクール「ドコモ未来ミュージアム」
- ・「キッザニア甲子園」オフィシャルスポンサー
- ・ドコモ留学生奨学金

- ・ひとり親家庭の学習支援
- ・発達障がい児のサーフィンスクール etc

#### 4位 キヤノン株式会社

- ・貧困地域への教育支援
- ・寄付、募金活動
- ・「チャリティブックフェア」
- ・国連の支援活動への参加
- ・復興支援活動
- ・警察にデジタルカメラやスキャナー、プリンターなどを寄付
- ・視覚障がい者への写真教室
- ・「環境出前授業」
- ・「光のじっけん室」
- ・「綴プロジェクト」
- ・「キャノンカップジュニアサッカー」開催 etc

#### 7位 富士ゼロックス株式会社

- ・復興支援活動
- ・自然観察指導員講習会
- ・スペシャルオリンピックスを継続的に支援 etc

#### 8位 株式会社デンソー

- ・小水力発アイデアコンテスト
- ・デンソー緑のプロジェクト
- ・デンソーECO レンジャー21 子どもたちへの環境教育プログラム
- ・地域向け交通安全活動
- ・地域防犯活動
- ・被災地支援、募金活動
- ・デンソーグループセーフティーズ 交通安全の呼びかけ
- ・トヨタグループ災害Vネット
- ・デンソーサイエンススクール 理科の授業
- ・少年少女発明クラブへの支援
- ・デンソー電友会によるスポーツ大会、講習会の開催
- ・モノづくり体験
- ・デンソーカップサッカー
- ・アジア車いす交流センターの支援
- ・障がい者施設の方をコンサートに招待
- ・障がい者の雇用 デンソー太陽株式会社 etc

9位 株式会社リコー

- ・森林生態系保全プロジェクト
- ・えなの森プロジェクト
- ・東日本大震災復興支援
- ・BOPプロジェクト
- ・市村自然塾
- ・リコーサイエンスキャラバン
- ・インド教育支援プログラム etc

9位 花王株式会社

- ・みんなの森づくり活動
- ・みんなの森の応援団
- ・環境保全プロジェクト
- ・理科教育支援
- ・出張授業
- ・教材提供
- ・花王社会起業塾
- ・花王ファミリーコンサートの開催
- ・社会福祉施設への製品寄贈
- ・美化活動 etc

11位 味の素株式会社

- ・奨学金制度
- ・出張講義
- ・河川浄化活動
- ・子どもたちによる環境保護絵画コンテスト 開催 etc

12位 コニカミノルタ株式会社

- ・立体コピーで視覚障がい者の情報伝達をサポート
- ・書籍の復刻出版を支援
- ・子ども博物館を支援
- ・ランニング教室を開催
- ・「サマーキッズゴルフ」に協賛
- ・サッカー大会「コニカミノルタカップ」メインスポンサー
- ・各地で乳がん患者支援団体を支援
- ・被災地支援活動
- ・視覚障がいを持つ子どもたちのための教材製作を支援
- ・環境教育

- ・グリーンコンサートを開催
- ・森林保護活動
- ・地域の美化推進活動 etc

13位 日本電気株式会社 (NEC)

- ・NEC ガリレオクラブ 理科
- ・NEC キッズ
- ・NEC 難病コミュニケーション支援講座
- ・NEC 盲導犬キャラバン
- ・手話によるスピーチコンテストを継続して支援
- ・チャリティーコンサート
- ・東日本大震災復興支援 etc

14位 本田技研工業株式会社

- ・ビーチクリーン活動
- ・「水源の森」保全活動
- ・子どもアイデアコンテスト
- ・環境わごん
- ・モノづくり体験
- ・交通安全教室
- ・地域美化活動
- ・車いす改造ボランティア活動
- ・復興支援

15位 ダイキン工業株式会社

- ・森林保全
- ・海岸の清掃活動
- ・古紙収集、再生
- ・小学校向け環境教育
- ・小学校向け理科実験授業
- ・工場見学の受け入れ
- ・ちびっこ剣道場の開設
- ・近隣中学校の職場体験受け入れ
- ・奨学金の寄付
- ・エアコン寄贈 etc

16位 株式会社村田製作所

- ・小中学生を対象とした出前授業
- ・環境学習
- ・「全国小学生バドミントン大会若葉カップ」に協賛
- ・「ムラタイノベーターカップ小学生囲碁9路盤大会」
- ・「ムラタの緑化方針」 生態系保全活動 etc

17位 日産自動車株式会社

- ・「日産 童話と絵本のグランプリ」
- ・小学生を対象にした出張授業
- ・日産アートアワード
- ・日産日本問題研究所 設立
- ・東日本大震災復興支援
- ・工場見学
- ・「日産カップ追浜チャンピオンシップ」
- ・清掃活動
- ・サッカー食育キャラバン etc

18位 株式会社クボタ

- ・海外の水環境改善
- ・打ち水大作戦
- ・地域の環境美化、清掃活動
- ・クボタ地球小屋（てらこや）
- ・クボタサンベジファーム 障がい者の雇用
- ・出前授業
- ・ラグビーの指導
- ・地域自治会での餅つき大会への参加
- ・東日本大震災復興支援
- ・熊本地震復興支援 etc

19位 積水ハウス株式会社

- ・住まいづくりの教室「すまい塾」の開催
- ・「生活リテラシーブック」の発刊
- ・総合住宅研究所の教育貢献活動
- ・各地の教育貢献活動
- ・インターンシップの実施
- ・清掃活動
- ・被災地支援 etc

## 20位 アサヒグループホールディングス株式会社

- ・東北復興支援 「希望の大麦プロジェクト」
- ・KIDS プロジェクト 施設の子どもたちに対して
- ・アサヒ アート フェスティバル etc

### <検討>

傾向としては、ランキング入りしている企業は大企業がほとんどであり、どの会社も継続性・従業員の自発性を大切にしているようだった。社会貢献活動の内容のおおよそが、地球を守る活動、子どもたちの育成、交通安全、コミュニティ、文化・スポーツ、復興支援を軸として展開していた。

環境保護のために活動する企業は特に多かった。環境保護活動の中でも清掃活動は、資金がそこまでかからず比較的しやすい活動であるため、地域貢献活動の基本となっているのではないかと考えられる。

障害者や病気の患者への支援も多く行われており、NECの盲導犬キャラバンやコニカミノルタの乳がん患者支援、富士ゼロックスのスペシャルオリンピック支援など幅広く行われている。

スポーツ大会やコンサート、文化活動を行っている企業も多かった。イベントのスポンサーになった企業の名前は私たちもよく耳にするため、企業の活動を特にアピールできる。

ダイキン工業のこどもの剣道場の開設や味の素のこどもたちを対象にした絵画のコンテストなど子供たちのために活動を行っている企業も多くみられた。村田製作所や花王など自分たちの事業内容を活かして出張授業を行っている企業もある。子供たちのために奨学金制度を整えているところも見られた。

東日本大震災や熊本地震、九州豪雨など、近年起きた災害の復興支援を行っている企業も非常に多かった。東日本大震災から時間は経過したが、復興支援を継続している企業は多く、東北の復興支援はどの企業でも重要視しているということがわかる。

KDDIのスマホを使った災害訓練授業の実施やキャノンの警察へのデジカメやプリンター、スキャナの寄付など、自分の会社の事業を活かして地域貢献活動を行っている活動が見られ、それぞれの会社が自分の強みを活かしていることが分かった。



(2) 業種別ランキングの第1位企業

業種	社名	CSRの内容
水産・農林業/ 鉱業/建設業	積水ハウス 株式会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・暑い夏を少しでも快適に暮らすため、ゴーヤのグリーンカーテンづくり</li> <li>・園児向けに何故巣箱を作るのか、環境に関する紙芝居を実演し、木を沢山植える事の大切さを説明</li> <li>・地域の里山で拾った種から育てた苗木を、総合住宅研究所に植樹する取り組み</li> </ul>
食料品	味の素株式会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年、全世界の従業員が一斉に、それぞれの地域で事業所周辺の清掃活動を行う活動</li> <li>・「だし・うま味」を体感する食育活動「味覚教室」の開催</li> </ul>
繊維製品	東レ株式会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境配慮企業を目指した清掃活動、ボランティア活動</li> <li>・人々の環境意識の向上を目指す環境教育</li> </ul>
パルプ・紙/化学	富士フイルム ホールディングス 株式会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若者世代への写真教室</li> <li>・環境教育をはじめとした教育支援活動</li> </ul>
医薬品	第一三共株式会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がんの患者さんとそのご家族への支援</li> <li>・育苗や植栽、育林による、東日本大震災の津波で失われた海岸林の復活を目指す取り組み</li> </ul>
石油/ゴム/ ガラス・土石	株式会社 ブリヂストン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブリヂストン環境ものづくり教室</li> <li>・家庭用廃食油（てんぷら油）の回収</li> <li>・グリーンカーテンの設置</li> </ul>
鉄鋼/非鉄金属/ 金属製品	株式会社 LIXILグループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然環境の保全（森林や里山の保全活動）</li> <li>・復興支援（LIXIL製品の寄贈、寄付、人材派遣）</li> <li>・地域との協働（地域防災のため避難訓練の実施、職場体験の実施）</li> </ul>

機械	株式会社 小松製作所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業支援（多機能 ICT ブルドーザーによる乾田直播栽培）</li> <li>・災害復興支援（仮説ハウスの無償貸与、学生支援）</li> <li>・対人地雷処理と復興支援（カンボジアやアンゴラでの地雷撤去活動、日本の学校での出前授業）</li> <li>・女性の建設現場進出の支援（女性専用の現場仮設トイレを自社開発し導入）</li> </ul>
電気機器/精密機器	キヤノン株式会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東日本大震災復興支援（AED の寄贈、使用済みインク・トナーカートリッジ回収本数や PPC 用紙の販売数に応じた寄付）</li> <li>・復興支援（社内食堂にて被災地食材を使用したメニューによる「復興支援フェア」を開催）</li> <li>・AED を使用した心肺蘇生講習</li> <li>・ベルマーク運動</li> </ul>
輸送用機器	株式会社デンソー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境との共生（アカウミガメ保護活動、高速道路のり面植樹）</li> <li>・地域向け交通安全活動（高齢者への交通安全啓発活動）</li> <li>・地域防犯活動</li> <li>・災害復興支援（義援金募金、物資収集）</li> <li>・障がい者福祉（働く場の提供）</li> </ul>
その他製品	大日本印刷株式会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東日本大震災復興支援（現地ボランティア）</li> <li>・地球温暖化防止への取り組み（二酸化炭素排出の少ない燃料への転換、再生可能エネルギーの利用）</li> </ul>
電気・ガス業	大阪ガス株式会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の清掃活動や美化活動への参加</li> <li>・エネルギー環境教育（小・中・高校生を対象にした出張授業）</li> <li>・エコクッキング</li> <li>・食育活動（全国親子クッキングコンテスト、地域がつながる食育シンポジウム）</li> <li>・職場体験の実施</li> <li>・障がい者の就労支援</li> </ul>

陸・海・空運/倉庫	日本郵船株式会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絶滅の恐れがあるアカウミガメの生態調査プログラム</li> <li>・船の一般公開やターミナル見学</li> </ul>
情報・通信業	KDDI 株式会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聴覚障害者の IT 教室の実施</li> <li>・スマホを使った災害訓練実施授業の実施</li> <li>・高校生らとスマホ依存解消アプリをコラボ開発</li> </ul>
卸売業	三菱商事株式会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林保全プロジェクト</li> <li>・障害者の為のランニングフェスティバルや美術館・博物館の貸切</li> </ul>
小売業	株式会社 セブン&アイ・ ホールディングス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「セブンの森プロジェクト」という名の森林保全活動</li> <li>・食の大切さを学ぶ食育イベント</li> </ul>
不動産業	三菱地所株式会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「人」・「まち」をつなぐエコキッズ探検隊&amp;出前授業</li> <li>・環境美化等を目的とした環境パトロール</li> <li>・「食育丸の内」プロジェクトといった食を通じて心身ともに健康になれるサポート</li> </ul>
サービス業	セコム株式会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セコムこども安全教室</li> <li>・小学生が経済や社会のしくみについて体験を通して学ぶ体験型実技演習プログラム</li> <li>・働く女性の安全委員会</li> </ul>

### <検討>

どの企業でも、全体的に自然や環境に関する活動が多いように見受けられる。また、自分たちの仕事を体験してもらうような企画やイベントが多い。

積水・東レ・富士フィルム・第一三共・三菱商事などの企業では、主に環境に関する CSR 活動が行われていることが分かった。積水では、里山から拾った種から育てた苗木を総合住宅研究所に植樹するなどの活動が行われている。東レや富士フィルムでは環境教育が行われており、第一三共では東日本大震災により失われた海岸林の復活を目指す取り組みがなされている。また、面白い活動だと思ったのは、KDDI が行っている高校生らとのスマホ依存解消アプリのコラボ開発である。セブン&アイ・ホールディングスは森林保全活動や食育イベントを行い、同じように三菱地所も「食育丸の内」プロジェクトというコンセプトの下で食育活動が行っている。

## II ESG 投資信託

### 1 ESG 投資信託とは

ESG とは、Environment（環境）、Social（社会）、Governance（企業統治）の頭文字をそれぞれとったものであり、これら 3つの要素に対する企業の取組み姿勢に基づく、企業価値を総合的に評価する基準の 1つとされている。

そして、投資信託とは、投資家から集めたお金をひとつの大きな資金としてまとめ、運用の専門家が株式や債券などに投資・運用する商品で、その運用成果が投資家それぞれの投資額に応じて分配される仕組みの金融商品である。

つまり ESG 投資信託とは、環境、社会、企業統治の三要素に配慮している企業を重視して、それに基づいて集めたお金を専門家が投資することである<sup>3</sup>。

環境：CO<sub>2</sub>排出量の削減、化学物質の管理

社会：人権問題への対応、地域社会での貢献活動

企業統治：コンプライアンスのあり方、社外取締役の独立性、情報開示など

- ・国際連合が 2006 年、投資家がとるべき行動として責任投資原則（PRI：Principles for Responsible Investment）を打ち出し、ESG の観点から投資するよう提唱した。
- ・欧米の機関投資家を中心に企業の投資価値を測る新しい評価項目として関心を集めるようになった。
- ・ESG 投資＝環境・社会・企業統治を重視→企業の持続的成長や中長期的収益につながり、財務諸表などからはみえにくいリスクを排除できるとの発想がある<sup>4</sup>。

---

<sup>3</sup> カブドットコム証券 ([https://kabu.com/item/fund/feature/theme\\_esg.html](https://kabu.com/item/fund/feature/theme_esg.html)) のホームページ参照。

<sup>4</sup> 日本大百科全書

## 2 ESG 評価に優れた企業<sup>5</sup>

ESG 企業		ESG 格付け
企業名	取組み	
国際石油開発帝石株式会社	<p>①代表取締役社長を委員長とする CSR 委員会を設置。</p> <p>②国際グローバル・コンパクト、IOGP、APPEA、EITI、IPIECA、石油鉱業連盟などの国内外の様々なイニシアティブへの参加。</p> <p>③ガバナンス、コンプライアンス、HSE、地域社会、気候変動対応、従業員を CSR 重点テーマとして再設定。</p>	AAA
住友化学株式会社	<p>①CSR 推進委員会および連絡会を設置。</p> <p>②SDGs の目標に関連する仕事や職場の取り組みを投稿する「サステナブルツリー第二弾 “未来に向けて！社会とつながる SDGs” を実施。</p>	AAA
イビデン株式会社	<p>①CSR 活動の方向性を、ステークホルダーの要請事項を反映した「イビデングループ行動憲章」で表している。</p> <p>②CSR 推進室の設置と CSR 推進責任者会議の実施。</p> <p>③CSR に関する監査での指摘事項の原因分析を行い是正処置と予防策を実行し課題を改善する。</p>	AAA
積水化学工業株式会社	<p>①「環境貢献製品」の適用範囲を「自然環境+社会環境」に広げて社会価値と企業価値を両立することにより成長を加速させる。</p> <p>②CSR 経営推進室を設置。</p> <p>③CSR 調達アンケートの実施。</p> <p>④SRI 格付機関との対話。</p>	AAA

<sup>5</sup> 「MSCI ジャパン ESG セレクト・リーダーズ指数」を構成する銘柄のうち、格付けの高い (AAA・AA) 企業の一部を選定している。

ダイキン工業株式会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>①CSR・地球環境センターの設置。</li> <li>②価値提供のCSR（環境・新価値創造・顧客満足・人材・コーポレートガバナンス・人権の尊重・サプライチェーンマネジメント・ステークホルダーエンゲージメント・地域社会）の9つを重点取り組みに選定し戦略経営計画に反映。</li> </ul>	AAA
オムロン株式会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>①生産拠点の環境法規制とそその変化を把握する仕組みの構築。</li> <li>②水資源の取水量の削減。</li> <li>③お客様が使わなくなったオムロンの製品の回収、リサイクルやリユースの推進。</li> </ul>	AAA
株式会社デンソー	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地域社会との協働による植樹活動。</li> <li>②青少年育成や障がい者支援につながるモノづくりのプログラムの企画。</li> <li>③環境調和型製品の開発。</li> <li>④化学物質の削減・全廃</li> </ul>	AAA
KDDI 株式会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>①スマホを使った災害訓練実践授業の実施。</li> <li>②聴覚障がい者を対象としたIT教室の開催。</li> <li>③がれきの撤去や古民家再生といった被災地域の復興支援活動。</li> </ul>	AAA
株式会社NTTドコモ	<ul style="list-style-type: none"> <li>①情報セキュリティ対策のための人材育成、意識向上。</li> <li>②通信サービスの安定性と信頼性の確保。</li> <li>③廃棄物の最終処分率を抑え資源を有効利用。</li> <li>④電力効率の良い基地局やNW設備の開発と導入。</li> </ul>	AAA
大阪ガス株式会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>①クリーンエネルギーである天然ガスの普及、高効率機器の開発。</li> <li>②製造所構内での希少植物の保全。</li> <li>③“小さな灯”運動。</li> <li>④「全社人権啓発推進委員会」の設置。</li> </ul>	AAA

日清紡ホールディングス株式会社	地元サンパウロ州インディアターバ市の小学校と提携して野菜農園を運営。	AA
帝人株式会社	日本及び中国での奨学金制度。	AA
東レ株式会社	技術、営業、研究など様々な部門の社員が小・中学校に出向いて出張授業。	AA
日立化成株式会社	近隣地域の中学生や卓球クラブなどに卓球指導を行い、地域に根差した交流活動を積極的に行っている。	AA
味の素株式会社	毎年、全世界の従業員が一斉に、それぞれの地域で事業所周辺の清掃活動を行う。	AA
大林組	①低炭素、循環社会、自然共生社会を目指し、環境保全会議の開催等を行う。 ②経営資源を有効に活用して、災害に対する備えと災害時の復旧・復興に取り組む。 例 タイの洪水への義援金の拠出。東日本大震災震災地での復興ボランティア等。	AA
株式会社安川電機	①生物多様性保全のためにどんぐり銀行の取り組みに参加。 ②安川電機未来館の開設。安川電機陸上部の地域イベントへの参加。 ③北九州マラソンでのボランティア活動。 ④ギラヴァンツ北九州への協賛。	AA
株式会社ローソン	①兵庫県姫路市に環境配慮型モデル店舗の開設。 ②インドネシアへのCO <sub>2</sub> の冷凍、冷媒システムの導入。 ③店舗設備に省エネタイプの冷暖房設備やLED照明の導入。 ④ダイバーシティの推進。	AA

株式会社協和エクシオ	<p>①焼却施設、リサイクルセンターの建設と長期運営、再生可能エネルギーの利用施設である木質バイオマスボイラ設備や太陽光発電システムの設計・施工・保守、電線共同溝を利用した無電柱化工事などに取り組み、環境保全および循環型社会の構築に寄与。</p> <p>②電気・ガソリンなどのエネルギー消費量の削減、廃棄物の削減、「エクシオの森林(もり)」における森林育成活動、街の美化運動のほか、環境保全に寄与するシステムの開発・提供(エコソリューション)。</p>	AA
株式会社アシックス	<p>①環境に配慮した製品の開発。</p> <p>②熊本での被災地支援(運営する中高年層向け機能訓練特化型デイサービス施設「Tryus(トライアス)」での実績とノウハウを、出張型に再編集したプログラムです。指導を受けた高校生は、避難者を対象に、運動不足解消のトレーニングプログラムを提供)。</p> <p>③ホームレスや弱い立場にある若者を支援する組織で、ランニングを通して健康の増進と目標設定意欲の向上を図り、より安定した持続可能な将来の構築を支援のためにイギリスのThe Running Charityと新たに提携。</p> <p>④ダイバーシティ推進プロジェクト(女性のキャリア向上のための社内キャリアデザイン研修及び女性リーダーのためのロールモデル会議。女性営業職の活性化に取り組む異業種プロジェクトに参加)。</p>	AA



地域貢献活動に携わる企業への訪問



# 株式会社 Faber Company

訪問日：2017年7月25日

訪問者：3年ゼミ生全員

報告者：林田和透・山口大二郎

言葉を磨く、絆を紡ぐ



## 会社概要

Faber Company は、「職人とテクノロジーの融合」の実現を目指し、

- ① MIERUCA（ミエルカ）事業
- ② コンサルティング事業
- ③ 自社メディア事業
- ④ サイト M&A 事業

に取り組んでいる会社である。

2005年の創業以来、数多くの Web マーケティングの課題解決にかかわってきた。

社名の「Faber」はラテン語で「職人」の意であり、「Faber Company」とすることで「職人と仲間たち」を意味している。

Faber Company 社では Web マーケティングのスキル保有者を独自に「職人」と呼んでいる。2015年にリリースした、人工知能を活用した Web マーケティングプラットフォーム「MIERUCA（ミエルカ）」を駆使してコンサルを行う「職人」には女性も多く、美容などの女性が求める商材のみならず BtoB（企業間取引）の案件でも、女性コンテンツディレクターやコンサルタントが活躍している。

- ・ MIERUCA（ミエルカ）事業

人工知能（AI）を活用し、Web ユーザーのニーズを網羅的に抽出、評価されやすいコンテンツづくりをグランドツール、学習コンテンツ（動画、ユーザー会等）、コンサルティングによつて的確に支援する Web マーケティングプラットフォーム「ミエルカ」を開発、クライアント企業に導入する事業。

- ・ コンサルティング事業

対象サイトのアクセス分析等を行い、改善提案を行う事業。「ミエルカ」を使ったコンテンツ制作指導もここに含まれる。

- ・ 自社メディア事業

複数のメディアを自社で運営する事業。

- ・ サイト M&A 事業

サイトの売り手と買い手を結び付け、サイトの将来価値を伸ばしていく事業である。

## 職場環境

20代、30代の若手メンバーが活躍し、新人を育てる風土が根付いている。

そして、スタッフ交流支援、スキルアップ支援、キャリア支援なども充実している。

周りの人へ気を配る、悩まずにすぐ決める、予定外のことに動じずに対応する、指示を待たずに自分で考えて動く、プレッシャーに強いというスキルを持った人を求めている。

## 地域貢献活動

Faber Company 社は、これまで地方人材に Web マーケティングのノウハウがないのは単に「勤務先がなかった」からであり、その資質・潜在能力は東京の人材とまったく変わりはないと考え、2016 年 9 月に九州佐賀支社を設置、東京本社の一部機能を移転し、佐賀県における Web マーケティングに関わる雇用創出と人材育成に努めている。

また、2017 年 3 月からは株式会社キーワードマーケティングと共同で「地域創生 IT 人材育成プロジェクト」を始動し、「県内で就職・定住をサポートしたい」と、初歩の初歩から Web マーケティング、キーワード広告について学ぶことができる下記の講座を開催している。

第 1 回 「検索ユーザーの満足」を追求する Web ライティング講座

第 2 回 売り上げを倍増する Web 広告の始め方講座

第 3 回 Web ページを改善！アクセス解析の始め方講座

第 4 回 お客様の心をつかんで離さない広告ランディングページの考え方講座

第 5 回 「“ユーザー体験 (UX) をデザインする” って何だろう？」UX 入門

ワークショップ

第 6 回 売り上げ 10 倍も夢じゃない。Facebook 広告の始め方講座

さらに、東日本大震災や熊本地震で被災した地域に、株式会社キーワードマーケティング研究所との共同企画による対談 CD (「Google 化した Yahoo!をどう対策するか? 2011 年 SEO 成功の極意とは?」、「2016 年最新 SEO 対談」) の制作・販売による利益全額を寄付されている。

## 感想

今回、3 年ゼミ生全員で上記の「“ユーザー体験 (UX) をデザインする” って何だろう？」UX 入門ワークショップを受講しました。このワークショップでは、日常生活にも生かせるような貴重な体験をさせていただきました。ユーザー体験をデザインするとは何か、というテーマのもと、具体的な例を用いたセッションでした。セッションは、デザインの基

本プロセスである相手を知ること、アイデアを検証すること、両者のプロセスにおいて気づき、学習、改善することを念頭に置いて進められました。話を聞く中で、この基本プロセスは仕事や日常生活の中でも意識すべきことだと気づきました。

また、ワークタイムではグループを作り、実際に「弁当箱」のユーザー体験をデザインすることに挑戦しました。話し合いではメンバー同士で多様な意見が出され、使用者のことを考えながら工夫を重ねていく時間は面白く、発表の時間では自分たちのグループでは出なかった意見も出てきて、とても充実した時間を過ごせました。

ワークショップ後、稲次社長と石橋様に時間をとっていただき、会社のことや仕事の内容など多くの質問に答えていただきました。中でも印象に残ったことは、仕事の内容に関する分野については未経験である社員が多数いたことです。そのような方達を多く採用して会社は成り立つのか疑問に思いましたが、それが **Faber Company** 社の魅力でもあるとも思いました。近年は IoT 化も進んできていますが、最先端の仕事に就きたい人、意欲的に働きたい人にとってマッチしている会社であると思いました。



↑ 稲次社長のお話を聞いています

# 株式会社 友樹飲料

訪問日：2017年11月6日

訪問者・報告者：岩本翼・森山達也・林田和透・山口大二郎

おいしいとも！

# 友樹飲料

T O M O M A S U D R I N K

## 会社概要

友樹飲料は、明治35年、佐賀の小城市の小さなラムネ屋から始まった。

友樹飲料では、「オリジナルのサイダーを作りたい」、「特産品を活かしたジュースをつくりたい」というような声に応えるために、ODM(Original Design Manufacturing)事業を行っている。友樹飲料のODM事業とは、要望に応じて設計からマーケティング、物流や販売までを一貫してサポートし、それぞれの要望・事情を尊重しながら、お互いの理解を深め合い、唯一無二のサイダーを作り世界に広げる、というものである。

近年、日本各地でその土地の素材や文化にちなんだ「地域ブランド商品」や「地産地消型商品」などの「地域商品作り」が盛んになり、注目が高まっているが、その商品の「コンセプト」が希薄である、商品の効果的な販売促進・広報活動等が分からないというような問題点がある。そのような現状の中でも、友樹飲料では、これまで携わってきた多くの地域商品の開発事例を通して蓄積された商品開発ノウハウを体系的に整備し、商品の設計段階から販売に至るまでをトータルでサポートできる体制を構築し、地域活性化に貢献している。

## 商品開発事例 「ゆふいんサイダー」

### 商品の特徴

- ・ 由布院の癒し安らぎというイメージとおしゃれな雰囲気のパッケージで表現
- ・ 製品に使う水は全て由布院の天然水を利用し地域性を創出。
- ・ 代理店制を敷くことで販売方法など統一したプロモーションが可能。
- ・ 収益源が確保でき、新たな地域商品の開発が可能になる。

他にも、

小豆島特産のオリーブを原料とした「オリーブサイダー」

能古島で取れる甘夏果汁を使った「能古島サイダー」

天然水・レモンを使用した「温泉レモネード」等がある。

また、友桝飲料では、世界的な環境問題への取り組みが急がれるなか、自然環境を悪化させることのない、持続可能な社会の実現のため、環境に配慮した取り組みを行っている。

- ・ 熱転換によるエネルギー使用原単位削減
- ・ 工場プラント仕様見直しによる CO2 排出原単位削減
- ・ 熱交換水の有効活用による用水使用原単位削減
- ・ 膜処理技術を活用した排水処理による排水基準規格の厳守

## 地域貢献活動

### 1 活動内容

- ・ みやき町で統合医療施設をつくる計画が進んでいる中、炭酸水の効能である美容や健康増進を生かす炭酸活用技術の提供
- ・ 地域特産品を生かした新商品の開発を単に進めるだけでなく、多くの携わってきた事例を生かし、効果的な販売促進・広報活動等のサポート。

### 2 地域貢献活動に取り組む理由

地域独自の強みを生かした本業をするなかで、結果的に地域貢献につながればよいなど考えている。



### 3 地域貢献活動にかかった費用

商品開発の場合で例をあげるなら、商品の開発をするだけならば 40～50 万円ほどで、広告費や包材の作成、ラベルのデザイン作成などを含めて売り出すまでに最大 100 万円ほどかかる。ただ、売れるかどうかわからないため、なるべく低コスト・高品質になるよう注意している。



### 感想

友樹飲料の友田社長は、私たちに、「まず地域貢献ありきとやっていてるのではない。ただ、自分たちの本業を精一杯頑張った。それが結果として地域貢献につながった。地域貢献をしようと思って予算をもらったりすると甘い見立てになり、失敗しやすい。だから本業に専念して結果として貢献という形になった。」と仰っていました。

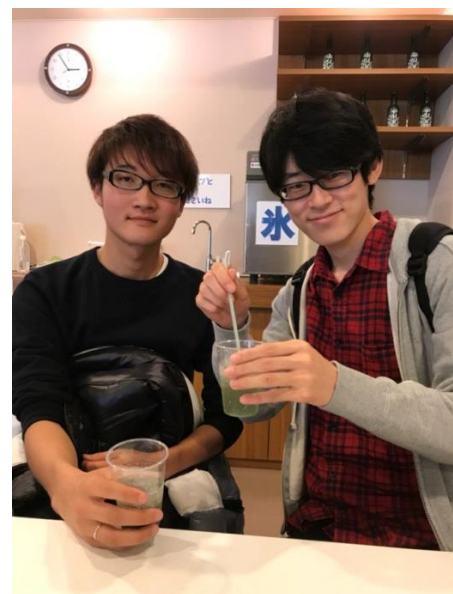
地域貢献活動というものは、やはりおいそれと手を出していいものではなく、まず自分たちの足場を固め、本業をがんばり、そして地域に恩返しするというサイクルがあるよう

に思います。また、今回みやき町が企業誘致しているということもあり、コラボという形になりましたが（地域貢献活動の1つめ）、誘致する自治体などとのマッチングもうまくいかなければコラボしようということにはなりません、そういった意味で地域貢献活動における自社商品とのコラボは、非常に緻密で難しい世界だと感じました。

会社というものは、そもそも立ち返ってみると、利益を得ることを目標としているわけです。地域貢献活動であっても何であっても、やはり利益という話はずっとついてきます。ただ単にボランティアのような形で商品を提供するだけというわけにはいきません。友田社長は、「友樹飲料では大手飲料メーカーのようにすぐにコラボして商品を開発するというわけにはいかない。商品が一つ失敗するだけで大打撃を受ける自社としては、ただただ本業に専念していく。」と仰っており、そのように語る社長の目は、トップに立つものとして神々しいものを感じました。

現在経営が軌道にのっているように感じる友樹飲料社ですが、人手不足や顧客の依頼に対する対応スピードなど、まだまだ解決しなければならない問題が多数あるとのこと。しかし、友樹飲料社は、小ロット多品種という強みを活かし、今後もお客様にとってなくてはならない商品を作りたい、地域で愛される商品を提供していきたいと友田社長は仰っていました。

地域貢献という言葉から、ボランティアで掃除をすることなどをイメージしていましたが、今回地域貢献活動の内容を詳しく伺うことができ、地域貢献に対する思いや難しさなどについて理解できたと思います。



友樹飲料社のサイダーをいただきました↑

# トヨタカーローラ佐賀 株式会社

訪問日：2017年11月13日

訪問者：鶴田正人・平坂恵理・青木詩織・武富有平  
報告者：鶴田正人



## 会社概要

本社所在地 〒840-0864 佐賀市嘉瀬町大字荻野 344 番地の 1

設立 昭和 41 年 9 月 1 日

資本金 7000 万円

代表者 代表取締役社長 前田博憲

従業員 121 名 (2017 年 4 月現在)

店舗数 佐賀県内 7 拠点

(鳥栖店・こせ店・イルカ店佐賀・武雄店・イルカ店鹿島・唐津店・伊万里店)

## 事業内容

- 新車販売・リース販売
- 中古車（U-Car）の販売
- 自動車の点検・整備・修理
- 自動車買い取り（イルカ買い取り）
- 自動車部品・用品（ナビ、オーディオ等）の販売
- 各種保険の取り扱い（自動車保険、損害保険、生命保険、がん保険）
- 携帯電話（au）・KDDI 等、通信商品の販売
- トヨタカード（TS3）の取り扱い
- JAF の取り扱い

## CSR 基本方針（平成 28 年 4 月 1 日）

私たちは、企業の社会的責任において、法令や倫理の遵守、環境問題への取組み、地域社会への貢献活動を積極的に実施し、信頼される企業をめざします。

### CSR 基本理念

トヨタカローラ佐賀株式会社は、法令と業界協定等の精神を尊重し、これらを遵守することを第一としつつ、利害関係者に対する有益な事業活動に努めます。

これにより、社会からのより高い信頼を獲得するとともに、健在な社会の発展に寄与することを目指します。

この基本理念を実現するため、当社 CSR 基本方針を以下のとおりといたします。

### CSR 基本方針

#### 1 法令等の遵守

- (1) 事業活動に関わる法令等を認識し、それらに適合する業務手順を定めます。
- (2) 従業員に対してコンプライアンス意識の向上と適正な業務遂行のための教育を計画的に実施します。
- (3) 業務の適法性を定期的に確認するとともに、継続的な業務改善に努めます。

## 2 各利害関係者への約束

当社の各利害関係者に対して、適用される法令を遵守するとともに、利害関係者の権利と人格を尊重し、相互の信頼の維持及び向上に努めます。

### 〔お客様〕

- (1) 「お客様第一主義」を旨として、お客様に安心と満足をいただける商品とサービスを提供します。
- (2) お客様との取引にあたっては、必要な情報を正しく提供し、契約・約束は誠実に履行します。
- (3) 車両を安全かつ快適に使用するために必要な情報をお客様に積極的に提供します。
- (4) お客様の個人情報その他の重要情報は適切に管理します。

### 〔地球環境・地域社会〕

- (1) 低燃費・低公害車両の普及、ならびに整備技術の向上に努め、お客様の車両を通じて環境負荷の低減を図ります。
- (2) 省エネルギー・省資源、および廃棄物の削減・適正処理等に努め、循環型社会の構築に寄与します。
- (3) 業務により発生する騒音・振動や汚水・汚染物質等を適切に管理し、地域環境の保全に努めます。
- (4) 地域社会とのコミュニケーションを重視し、交通安全や環境に関わる有益な情報を提供するとともに、地域の美化、安全、活性化などに貢献する活動に努めます。
- (5) 反社会的勢力に対しては、関連諸法令に基づいて毅然たる姿勢で臨みます。

### 〔取引先〕

- (1) 取引にあたっては共存共栄を旨とし、契約は誠実に履行します。
- (2) 当社及び従業員は取引先に対し不当な利益を求めず、また与えません。

### 〔従業員〕

- (1) 職場環境や業務システムの整備に努め、従業員の肉体的・精神的健康の維持と増進を図ります。

- (2) 継続的な教育訓練により、業務に必要な知識と能力の向上を図るとともに、従業員の自己啓発・相互啓発に対して積極的な支援を行います。
- (3) 事業に関する情報は可能な限り従業員に開示し、会社と従業員の意見交換を推進します。
- (4) 従業員の実績及び能力について公平性ある評価と処遇をします。

## 地域貢献活動

### 1 活動内容

- ① 絵本や紙芝居を年間 300 冊ほど周辺の保育園に寄贈する。
- ② 伊万里地区のミニバスケットボール大会のスポンサー  
…地域で関わりのある方からの依頼があって始めた活動である。ポスター、優勝カップの作成などを行った。
- ③ キッズサッカー大会の開催、こどもへのサッカー指導  
…U-6 の指導ライセンスを取得し、社員が子供たちに指導を行っている。ここでの指導とは、技術指導よりも初歩の段階の子供たちにボールに触れてもらいサッカーの楽しさを感じてもらおうというものである。
- ④ 干潟の清掃活動  
…AQUA SOCIAL FES という取り組みの一環で行った活動。AQUA という自動車の名前から、「水」をテーマにした地元の自然環境を保護・保全する活動を全国のトヨタ販売店でやっている。佐賀ではとくに肥前鹿島干拓の清掃や棚田の保全活動などを毎年行っている。

### 2 地域貢献活動に取り組む理由

地域貢献活動自体は以前から取り組んでいたが、2 年前に 50 年間変わることのなかった社訓を変更した。

## 経営ビジョン

- ・ お客様から愛され、選ばれる会社

お客様へ期待以上のおもてなしを提供することで、お店が笑顔で溢れ、お客様から選んでいただける会社を目指します。

- ・ 社員が自信と活力に溢れ、幸せになれる会社

やりがいのある職場環境を醸成することで、活気に溢れ、社員とその家族が幸せであり続ける会社を目指します。

- ・ 社会に貢献し、地域に求められる会社

社会貢献活動を通じて、地域に根付き、必要とされる会社を目指します。

経営ビジョンに地域貢献活動のことを記載したため、地域貢献活動に今まで以上に力を入れ始めた。地域に根差した企業になって必要とされる企業になるためには、普段の事業の幅を広くして頼りになる会社を目指すのと同時に、社会貢献活動にも力を入れるべきだと考えている。

上記(1)の地域貢献活動は、地域の子供たちの成長の助けになればと思い始めた活動や、地域の方から依頼されて始めたもの、全国のトヨタカローラで行われている活動の一環として始めたものなど、様々な理由で取り組んでいる。

地域貢献活動は一度だけ行うよりも長い期間続けていくことが重要だと考えているため、現在行っている地域貢献活動を今後もしっかり継続していく予定である。他の地域貢献活動を行うかどうかは未定であるが、検討はしている。

### **3 地域貢献活動にかかった費用**

絵本代、サッカー関連、バスケットボール大会の宣伝（ポスター）に費用がかかった。活動を継続することが重要であり、ボランティア活動のようなものが多いため、費用はあまりかからない。

### **4 地域貢献活動によるメリット**

地域の人とのかかわりを持つことができることが一番のメリットである。佐賀の地域の人から選ばれる企業でなければならぬため、地域のために活動することも重要である。

## 感想

地域貢献活動を始める時に、会社自身が活動を探す場合以外に、地域の方から依頼される場合もあったと伺い、地域に根差した企業として良い例だと思いました。

事業内容を伺ったときに、自動車販売を行っているだけでなく、自動車の周辺に関わることも含めて幅広い事業を行っていることを知り、車やその周辺に関することを何でも任せられるので、地域になくてはならない存在になっていると感じました。

地域貢献活動の内容は、費用がそれほど掛からず社員の方々も楽しんで取り組める活動だとお聞きし、活動を続けられるための工夫もされていると感じました。そのような工夫がされているのは、地域貢献活動を継続することが重要だと考えているためではないかと思いました。

トヨタといえば「カイゼン」が有名ですが、トヨタカローラ佐賀にも CSR 基本方針の中に「改善」の文字が入っており、トヨタ本社の影響があるのかと感じました。意識はしていなくても、業務を改善していくということが重要だということだと思います。





# レグナテック 株式会社

訪問日：2017年11月17日

訪問者：平坂恵理・青木史織・武富有平

報告者：青木史織・武富有平



## 会社概要

創業 1964(昭和 39)年 6 月

設立 1972(昭和 47)年 9 月

所在地 佐賀県諸富町山領

従業員数 48 名

事業内容 一般家庭用家具の企画・製作・販売  
公共施設及び店舗用特注家具の企画・製作・販売  
創作家具、インテリア小物の企画・製作・販売  
オリジナル雑貨、各種インテリア雑貨の販売

レグナテック社は創業から 53 年の歴史があり、主に木製家具の製造を行っている会社で、一般家庭用から公共施設、店舗用の家具を企画からすべて自社で一貫して製作されている。47 都道府県に商品を卸す代理店があり、日本全国のお客様に商品を提供することが可能である。また最近では、アジアを中心とした海外の展示会に出展するなど、海外にも進出されており、家具を使ってもらおう方々にやすらぎやくつろぎを与え、木の温かみを感じてもらいたいという気持ちで日々企画・製作・販売を行われている。

## 企業理念

### \* 経営理念

人々の暮らしに感動と幸せを提供できる商品を製造し、社員一人一人が意義ある仕事を通じて、自主性と責任感を身につけ成長し、人と社会の発展に貢献する。

### \* レグナテック五ヶ条の心得

1. 私たちは、家具・インテリア業界のモデル企業を目指し、人々に美しく心地よい暮らしを提案します。
1. 私たちは、自己成長と自己実現を追求する環境をつくり、社会の繁栄と社員の物心両面の幸せを実現します。
1. 私たちは、お客様・協力会社様へ、常に感謝の気持ちを忘れず、誠意を持って仕事に取り組みます。
1. 私たちは、人と自然と技術の調和を考えながら、資源の有効活用と循環に努め、地域環境と共生します。
1. 私たちは、「夢・時間・出会い」を大切にして、謙虚な心と前向きな言葉で、無限の可能性に挑戦します。

## ブランドコンセプト

### 「CLASSE」

…レグナテック社が企画、製作するオリジナルブランドの総称。

クラッセとは、イタリア語で「クラス=階級」を表す言葉で、暮らしの最上級をイメージしている。生活における品格の高さ、心のゆとりや人生の楽しみ、つまり豊かさの本質を追求したモノづくりのコンセプトである。

時代に左右されないシンプルなデザインと上質な素材をベースに、使う人それぞれの生活環境にマッチした独創的なアイテムを開発し続けている。

レグナテック社は、単にインテリアを提供するという考え方を超えた、人をまん中にした上質の空間づくりを目指している。

## 地域貢献活動

レグナテック社の最寄りのバス停である小杭バス停の上りと下りに1台ずつ木製のベンチを寄贈されている。ベンチの中央には「諸富家具」の文字とホームページの URL が刻まれていた。寄贈のきっかけは、月に1度行っている全体地域清掃の際にベンチが老朽化していることに気づき、家具の町ならではの地域貢献を行おうと思ったとのこと。また「諸富家具」と刻むことでバスを利用する人々に諸富家具の良さを知ってもらえればよいという思いも込められているそうだ。今後、設置するベンチの数を増やすことも考えているとのことである。

ベンチの寄贈以外の地域貢献活動として、毎月第一月曜日に全社員で本社・工場周辺の地域清掃活動をされている。2011年3月11日に発生した東日本大震災で、津波などの被害により街が滅茶苦茶にされていく映像を見て、自分たちの街は自分たちの手で守りたいという気持ちで始められ、7年目になるそうだ。ごみ拾いや草むしりを通して地域や環境に貢献することが目的であり、自分たちが率先して行うことで他社も始めるなど活動が波及していくことも期待されていた。また地域貢献活動が取り上げられることで社員が家族に自分の会社を自慢できる、誇らしく思えるようなことがあると、会社としての魅力につながるのではないかとおっしゃっていた。



小杭バス停にて

将来、子どもたちや海外からの観光客向けに、工場での木工体験やものづくり体験を行いたいとおっしゃっていた。この体験を行うことによって多くの人に佐賀、諸富を訪れてもらうことができ、人が集まることによって地域の活性化につなげたいということである。佐賀には嬉野温泉や有田陶器市、呼子などをはじめ多くの観光地があり、それらの観光と産業を結びつけることが地域の発展、活性化において大切になってくるそうだ。

## 環境活動

地域貢献に関連して積極的に行われている活動として、環境活動がある。暮らしとその環境を大切に考えることを目標に掲げられているだけに、様々な活動をされていた。工場では受注生産商品や別注商品に対応し、必要な時、必要な数だけ家具を生産できるようになっており、部品や原材料も受注による生産計画に従って調達されるため、極力無駄が出ない仕組みになっているそうだ。また、工場から出る端材は商品や小物の材料として再利用し、それでも余ったものは粉碎し、家畜の寝床などに再利用している。会社訪問の際には工場内を案内していただき、実際の粉碎機を見せていただいた。また工場から排出される廃棄物の分別も徹底されており、ごみ収集業者ではなくリサイクル業者に委託されているそうだ。徹底してリサイクルを心がけられていることが伝わってきた。



↑ 工場内の粉砕機



↑ 同工場内の廃棄物の分別コーナー

## 感想

バス停のベンチの寄贈という地域貢献活動をされていることを新聞記事で知ったことがきっかけで訪問させていただくまで、レグナテック社について知りませんでした。しかし、アジアを中心に海外進出の地盤固めをされていることを伺い、佐賀から世界へモノづくりを発信していくことを同じ佐賀に住んでいる者として大変誇らしく感じました。

以前はたくさん存在していた大川や諸富の家具工場も月日を重ねるにつれて少なくなっているとお聞きしましたが、家具の街として栄えてきた長い歴史をこれからも未来へと引き継いでいってほしいと強く思いました。

また今回、樺島社長から直接お話を伺いましたが、質問の応答はもちろん、諸富家具の歴史や家具産業の現状に至るまで丁寧に詳しく説明していただきました。さらに工場内も案内していただき、誕生日カレンダーやBBQなどの催し物の記録、広報紙などを拝見し、職場の環境を大切にされている印象を受けました。このようなことに加え、樺島社長の柔らかなお人柄も職場の雰囲気の良いにつながっていると感じました。

今は安さを売りにした家具や海外の輸入家具が売れ行きを伸ばしていますが、レグナテック社にしか造れないような、やすらぎ、くつろぎを与えられるような家具、木の温かみを感じられるような家具でこれからも佐賀、諸富を盛り上げていってほしいと思います。

# 石丸食肉産業 株式会社

訪問日：2017年11月22日

訪問者：赤坂公洋・児玉志織・下坂恵夢・中尾健太郎

報告者：下坂恵夢・中尾健太郎



## 会社概要

代表取締役会長 石丸博清

資本金 1000万円

創業 昭和45年(1970年)6月

事業目的 精肉および加工食肉類のインターネット・店舗における販売。

石丸食肉産業社は、県立病院や保育園、幼稚園等と取引を行っているため、固定の取引先が存在しており安定した供給を行うことができている。

ふるさと納税の好評を受け、そのノウハウを活かして全国展開を行っている。今年の4月にふるさと納税の返礼品に上限が定められることとなり、それによりどれくらいの影響を受けたかを伺ったところ、最初の数か月は影響を受けたものの、それ以降はそれほど大きな影響を受けておらず、結果的にこれまでとそれほど変化はないということであった。

地域に貢献しつつも地域規模の商売では満足しない、伝統を残しつつも進化を忘れない、このような趣旨からインターネットを利用した販売も行っている。

今までの業務にとどまることなく、今後は肉屋という仕事をベースにさらなる多角化を構想している。そのためのステップとして、シェフを呼んでハンバーグ作りを勉強するなど、積極的な経営を行っている。

今後、事業面では食肉分野にこだわらず様々な分野にチャレンジするつもりであり、ゆくゆくは医療法人を目指している。

## 地域貢献活動

### 1 活動内容

- ・ 「児童養護施設 洗心寮」に2年ほど前より毎年年末に会社で取り扱っている食肉を寄付している。2015年はクリスマスプレゼントとしてステーキ肉をプレゼントした。
- ・ 浮立等の伝統芸能保存会が資金繰りの悪化により継続が困難という話を聞いたので、一般社団法人ふるさと振興協会に伝統芸能保存活動金として寄付を行った。寄付金は江見沖神事、宇佐の宮浮立といった様々な伝統行事に活用されている。
- ・ 事業を展開したことにより加工工場を新たに増設し、地域の雇用創出に貢献した。

### 2 地域貢献活動に取り組む理由

地域貢献活動を始めたのは、周りの方々にも地域貢献をしてもらいたいからだということである。お話を聞かせていただいた担当の方は、「口頭や文面で地域貢献を呼び掛けても周りの方々には動いてくれない。自分たちが先頭に立って動くことで、行動で示したい。さらに自分たちの発言にも説得力を持たせたい」おっしゃっていた。つまり、自分たちが動けば周りも変わるという精神のもとでの行動であり、地域貢献への強い思いを感じた。

また、「1 回限りの行動で周りに呼び掛けても説得力はない。継続してこそ意味がある」とおっしゃっており、現時点で 2 年間地域貢献活動を継続して行われているということである。また、お話の中で、「3 年間続けるまでは公にしない。3 年は続けなければ実践したとは言えない」とおっしゃっており、地域貢献への姿勢の強さをうかがうことができた。

### 3 地域貢献活動にかかった費用

売上げの 1/100 くらいを割いて行っており、かなりの割合で地域貢献活動をしていることが伺えた。今後売上げが伸びていけば、さらに地域貢献活動に費やす金額も増やしていくということである。

### 4 地域貢献活動によるメリット

まず、前提として、地域貢献活動を通してメリットを得ようという考え自体があまりないということをおっしゃっていた。地域貢献活動というのは地域のために何かをしたいという気持ちが大切なのであり、そこに見返りを求めようとするのは野暮でつまらないことであると考えられているということである。

あくまで地域のために頑張りたいと考えるのは当たり前のことであり、売名のために地域貢献活動を始めたわけではない、というのがメリットを度外視している理由だそうである。

実際、私たちが石丸食肉産業社の地域貢献活動を知った新聞記事は偶然掲載されたものであり、会社としては積極的に新聞に掲載されることは考えていないということである。その理由として、地域貢献活動に着手してから 2 年という状況ではまだ「実践している」と誇れる段階までは至っていないという想いがあるようである。口だけで地域貢献をしている、と言うのではなく、あくまで行動で意思を示すことに意義を見出しているからこそ、最低でも 3 年は続けてからでないと公表しようとは思えないとのことである。

このような自分たちが変わることにより地域を発展させていこうという姿勢に、行動することに重きを置いている社風が表れているように感じた。

### 5 今後の予定

地域貢献活動については今後も拡充する予定であり、具体的には、野良猫・野良犬の避妊・去勢のためにかかる費用を払うなどの活動を考えているということである。現在、野良猫・野良犬への対処は殺処分に限られており、引取り手のいない野良猫・野良犬は殺処



分されてしまう。だからこそ、殺処分される犬猫を減らすために、今年度からでも避妊・去勢費用の一部を負担しようとしているということである。

このような活動の一環として、三養基町にある本社の裏に猫のための小屋が設置されている。十分なスペースが確保されたそこには現在5匹ほどの猫が住んでおり、そんな猫たちとの触れ合いを通して、命の尊さを感じられるようにという思いもあるということである。

## 感想

お話を伺ってまず驚いたことは、本業とは全く関係のないところで地域貢献活動をされているという点です。現在、様々な企業で地域貢献活動が行われていますが、その多くは本業にかかわるものであり、その活動内容も自社の本業の発展のためというところが多いように思われます。石丸食肉産業社は、上述したように芸能保存活動に寄付金を拠出されており、本業とは全く関係のないところで地域貢献活動を行ってらっしゃいます。これはやはり、地域貢献活動によるメリットを求めているという点が大きく関わっているのは間違いなく、純粋に地域に貢献したいという強い気持ちや姿勢を感じることができました。

とくに私は、お話を伺った際に、地域貢献というのは地域のために何かをしたいという気持ちが大切なのであり、そこに見返りを求めようとするのは野暮でつまらないというお答えに非常に感銘を受けました。

石丸食肉産業社の地域貢献活動の内容や、地域貢献に対する思いから、地域と共に発展する企業とはこのような企業のことではないかと非常に感じました。

# 佐賀トヨペット 株式会社

訪問日：2017年11月22日

訪問者：小林隆太・竹山晃平・境将太郎・力久雄介

報告者：竹山晃平



## 会社概要

トヨタ自動車株式会社の販売店として、佐賀県一円を販売地域に、トヨタ車の販売、各種中古車の販売並びに自動車の点検整備を中心とした事業を営んでいる。これらに関連する事業として、保険代理店業務、自動車のリース業務、情報通信業務を展開している。

具体的には、新車販売、中古車販売、自動車リース、自動車整備、部品・用品販売、自動車買取り、各種保険の取扱い（自動車保険・損害保険・生命保険・がん保険）、携帯電話（KDDI）通信商品の販売など。

従業員数は140名、年間売上高は約50億円。販売の拠点は、佐賀市にある佐賀店を中心に、中古車販売店舗を含めて8か所ある。

## 地域貢献活動

### ① ふれあいグリーンキャンペーン

山への植樹活動など、佐賀県を緑でいっぱいにするために地元自治体の皆様と協力して植樹活動を推進している。

『トヨペットふれあいグリーンキャンペーン』の活動は、1976年に始まり今年で24回目。これまで植えた苗木は全国で約40万本にのぼり、佐賀県には約3700本を寄贈した。今年の9月には、佐賀県唐津市の七山地区にアジサイや桜の苗木を335本寄贈した。

### ② トヨタ交通安全キャンペーン

創立60周年を記念して、県内の308の幼稚園、認定こども園、保育園に絵本1500冊、紙芝居600冊、大型絵本200冊を贈呈した。

### ③ AQUA SOCIAL FES

アクアソーシャルフェスは、「水」をテーマとした一般参加型の地域環境保全活動で、水辺の自然を守る活動参加型社会貢献プログラムである。

佐賀トヨペットの社員、スタッフも一緒に参加している。今年度は、6月と9月に唐津市にある蕨野の棚田において『蕨野の棚田と里山を守ろう』プロジェクトが開催され、地元の方と共に稲の苗植えから実った稲穂の収穫までのお手伝いをした。

### ④ トヨタ原体験プログラム

佐賀県内の小学校に赴き、クルマを題材にした授業（テーマ：クルマと環境）を県内トヨタ販売店と合同で行う。小学校5年生を対象にしている。

## ⑤ その他の活動

- ・トヨタ販売店遺児育英会
- ・トヨタコミュニティーコンサート
- ・トヨタセーフティーキャンペーン（備蓄水の寄贈）
- ・佐賀国際重粒子線がん治療財団（サガハイマツト）への車輛提供と寄付金の寄贈
- ・NPO 法人 犯罪被害者支援ネットワーク「佐賀 VOISS」への支援（自販機の設置と寄付金）
- ・SAGAN TOSU 支援（車輛提供・広告協賛支援・後援会支援）
- ・少年野球教室支援（西武ライオンズ監督 辻発彦氏主催 他）
- ・交通安全週間における安全指導のボランティア参加（年 3 回）他 啓発広告協賛等
- ・インターンシップの受け入れ（全店舗累計で年間約 10 団体）
- ・災害支援（例：東日本大震災時の募金・物資支援など）
- ・公園等の清掃活動（不定期）
- ・県内高校吹奏楽部などのコンサートや、スポーツ大会などの広告支援
- ・栄の国祭など、佐賀県内各地域の祭りイベントへの協賛
- ・ユニセフ・国境なき医師団・UNHCR（国連難民高等弁務官事務所）に対する募金支援
- ・赤い羽根募金、みどりの羽根募金
- ・佐賀県医療センター好生館への車輛提供

以上、全部で 21 の社会貢献活動を行っている。

## 感想

佐賀トヨペット社にお伺いして、具体的にどのような地域貢献活動を行っているか知ることができました。上記の 21 もの社会貢献活動は、佐賀トヨペット社の CSR 基本方針というものがあり、それに基づいて全てのステークホルダー（お客様、地球や地域社会、取引先、従業員）のニーズを満たす目的であることが分かりました。

すべての地域貢献活動の取組みにどれくらいの費用がかかっているのかという質問に対して、具体的な数字は一概に言えないけれど、企業の体力に合わせてそれなりであるとおっしゃっていました。佐賀トヨペット社は、日本の経済界を引っ張る大企業であるトヨ

タのグループ会社の一つであるということと、21もの地域貢献活動を継続的に行われていることを鑑みると、たくさんのお金を使って活動をしていることが容易に想像できました。

お話を伺った中でとくに印象に残っていることは、今後、地域貢献活動の種類を増やす予定はありますか、という質問に対して、「手あたり次第地域貢献活動を行い、増やしていくことはよくない。一つの活動を長く続けてこそ意味がある」とおっしゃったことでした。

地域貢献活動に取り組んだことにより、目に見えるメリットはあまりなく、地域貢献活動を行うことにより、お客様や取引先、地域の方に関心を持ってもらったり、褒めていただいたりしたときに従業員のやる気・活力につながり、会社として地域貢献活動に取り組む意義があるということでした。

地域貢献活動は自己満足的な要素も含まれている可能性があることも教えていただきました。会社が行った活動に対して、相手方は喜んでいないかもしれず、そのような意識を常にしっかり持ったうえで、社会や地域に役立つことを行っていくことが会社の社会的責任を果たすことにおいて、重要であることが分かりました



(佐賀トヨペット、佐賀店ショールームにて)

# イオンモール佐賀大和

訪問日：2017年11月28日

訪問者：小林隆太・竹山晃平・境将太郎・力久雄介

報告者：境将太郎・力久雄介



## 会社概要

商号 イオン九州株式会社

設立 1972年6月

社員数 10,829名 [正社員 2,697名、コミュニティ社員(8時間換算)8,132名]

佐賀大和店開業日 2000年9月9日

## 地域貢献活動

### 1 活動内容

#### ① 幸せの黄色いレシートキャンペーン

毎月 11 日をイオンデーとし、お客さまがその日受け取ったレシートを支援したい地域のボランティア団体の BOX へ投函することで、1 年間のお買い上げレシート合計金額の 1%と同等額がそれぞれの団体が希望する品物で寄贈される。

佐賀大和店では現在 18 のボランティア団体が参加しており、昨年度は合計で 90 万 7500 円分の寄付を行った。また 11 日に店頭で呼びかける団体ほど寄付額が多かった。

この活動が始まった当初はレシートの投函率が低かったが、投函 BOX を各レジに設置し、レジでの声掛けを行ったり、13 日まで投函可能にしたりといった工夫を行うことで、今ではレシートの回収率も徐々に増えて、九州でも上位の回収率になった。

#### ② ペットボトルキャップ回収キャンペーン

店頭にてペットボトルキャップを回収し、リサイクル業者に買い取ってもらった対価を「認定 NPO 法人 世界の子どものワクチンに日本委員会」に寄付を行う。

佐賀大和店では、最初はキャップを集めても引き取ってくれるリサイクル業者が近くなる、いったん福岡に集めて引き取ってもらっていた。

今年は学校など 20~30 団体がキャップの寄付に訪れ、個人の方の分も食品売り場の出入り口近くに設置している BOX にて回収をし、2016 年度はおよそ 1088 人分のワクチンにあたる 4350kg (一人当たり 4kg) のキャップを回収している。イオングループ全体では約 3 億 8,312 万個回収し、491 万 8,131 円を寄付している。



### ③ 植樹活動

この活動は 1991 年から全国のイオンで実施されている。1 番活動期間の長い社会貢献活動であり、2013 年には植樹が合計で 1000 万本となった。年 1 回 5～6 月に従業員が各店舗からボランティアとして参加し、これまでに合計 1000 万本以上の植樹を行っている。昨年は、イオン九州の従業員をはじめ、500 人のボランティアが集まり、植樹を行った。

### ④ チアーズクラブ

毎年のテーマに沿って環境について子供たちと一緒に学ぶ活動である。昨年はごみ処理場やリサイクル施設の見学に行き、そこで学んだことをもとに子供たち中心で新聞を作成し、イオン九州各店のチアーズクラブが発表を行った。ここで上位に入ると全国大会へと出場できる。子どもたちの主体性を尊重するため、大人はなるべく口を出してはいけないため、指導は大変だが充実している。





## ⑤ その他

- ・ イオングループとして

有明海のシチメンソウ、バルーンフェスタ会場、駅から県庁にかけての道などの清掃活動や、干潟のごみ拾いなど広域的なボランティア活動

- ・ ご当地 WAON とサッカー大好き WAON

ご当地 WAON ご利用金額の一部を佐賀県や唐津市などの自治体や、サガン鳥栖などのサッカーチームに寄付

- ・ クリスマス

金立特別支援学校や聖華園へクリスマスに従業員がサンタの格好をして訪問

## 2 地域貢献活動に取り組む理由

イオンの「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」という基本理念のもと、企業市民としての責任を果たすため。

## 3 地域貢献活動によるメリット

お客さまとともに取り組むことにより、地域の課題をともに解決することなどを通じて、人と人をつなぎ、地域のコミュニティの場として、人々が集うお店となっている。

## 4 今後の予定

現在行っている上記の活動を柱として継続し、他にも様々な活動を行っていく。

## 感想

黄色いレシートキャンペーンやキャップ回収など、ただ物を売るだけにとどまらない幅広い取り組みについてお話を伺うことができました。黄色いレシートキャンペーンでは、毎月 11 日に黄色のレシートを配布しているとのことでしたが、その日だけ特別に売り上げが伸びるというわけではない、というお話でした。しかし、自分の買い物が地域貢献に

なるといった実感があるのは素直に嬉しいと思います。お店として、日頃の業務の忙しさの中でも、呼びかけやボックスの設置など投函率を上げる取り組みはできるのだとわかりました。ワクチンのためのキャップ回収も、小学校や中学校時代に少し経験しましたが、多くの人が集まるスーパーマーケットで企業をあげて行っているだけあり、回収量も段違いだと実感しました。少量でも世界の人々を救える取り組みだけに、これからは積極的に寄付していきたいと思いました。その他地域清掃やごみ拾いなどは直接お金になる活動ではありませんが、お客さまから「活動の様子を見て感心した」と言ってもらえることがあり、とても嬉しくなるということでした。

私たちはこれから就職活動をすることになりますが、自分がどのような地域（社会）貢献をしたいのか、将来を見据えて職業を選ぶ必要があると考えました。「経済学部の方ならぜひ勉強してイオンを受けてください。」とお願いいただき、とても嬉しかったです。スーパーマーケットだけを対象に就職活動をするわけではありませんが、励みにしていきたいと思います。

# 株式会社 佐賀共栄銀行

訪問日：2017年12月5日

訪問者：赤坂公洋・児玉志織・下坂恵夢・中尾健太郎

報告者：赤坂公洋・児玉志織

## 会社概要

- ・ 事業内容 普通銀行業
- ・ 設立 昭和24年12月
- ・ 本店所在地 佐賀市松原4丁目2番12号
- ・ 店舗数 27店舗
- ・ 行員数 364名

**経営理念** 地域とともに栄える銀行

**目指す銀行像** 地域に根ざした面倒見の良い銀行



## 地域貢献活動

### 1 活動内容

経緯…経営理念と目指す銀行像に基づく

(地元の人々にどういった貢献ができるのかという考え)

(企業の成長に役立てるようなことがしたいという考え)

具体的内容 ▶ 銀行業務のすべてが地域貢献につながっている。

#### ① 本業 金融サービスの提供(預金業務や貸付金業務、為替業務など)

お客様のトラブルなどには迅速に対応することを常に心がけている。

#### ② 付随業務 お客様のライフステージに合わせた商品提供、情報発信

経営者セミナーや商談会を開催し、お客様の様々な問題解決の手助けを行っている。

業務で得たネットワークによって、お客様が必要としている関係を紹介し、つなげることもできる。

▶ これらを行うことでお客様との信頼関係を築くことができ、業務に良い影響を及ぼすことになる。

#### ③ その他 地域活性化に向けた取り組み

##### ● きょうぎん未来基金 (寄付型定期預金の取り扱い)

公益財団法人佐賀未来創造基金を通じて、県内の様々な分野の社会貢献活動を行う団体への寄付。障がい者施設や子育て事業など。

##### ● 「まち・ひと・しごと創生に関する連携協定」

各自治体と連携協定締結を行い、地域経済の持続的な発展や地域の活性化にむけて取り組む。その際、佐賀共栄銀行が持つ地域経済に関する知見やノウハウを生かすことができる。

##### ● 「佐賀城下栄の国まつり」総おどりの参加 (地域行事への参加)

地域行事に積極的に参加することで地域の方々とふれあうことができ、ネットワークが広がる。

## 2 地域貢献活動に取り組む理由

① 積極的に金融仲介機能を発揮し、経営相談や経営改善支援を含む地域密着型金融を推進するため。

② 銀行の情報ネットワークを活かすことで、継続的に地域経済の活性化を図るため。

③ 高度化・多様化するニーズに的確かつ迅速に対応し、お客様満足度の高い情報・金融サービス・金融商品の提供をするため。

銀行は地域の経済に大きな影響を与えることができる。地域貢献活動により経済の活性化につながるとともに地域の方々の信頼にもつながっていく。そしてそれが銀行の発展にもつながっていく。このような流れが生まれるからこそ、地域貢献活動に取り組まれていると思われる。



## 3 地域貢献活動にかかった費用

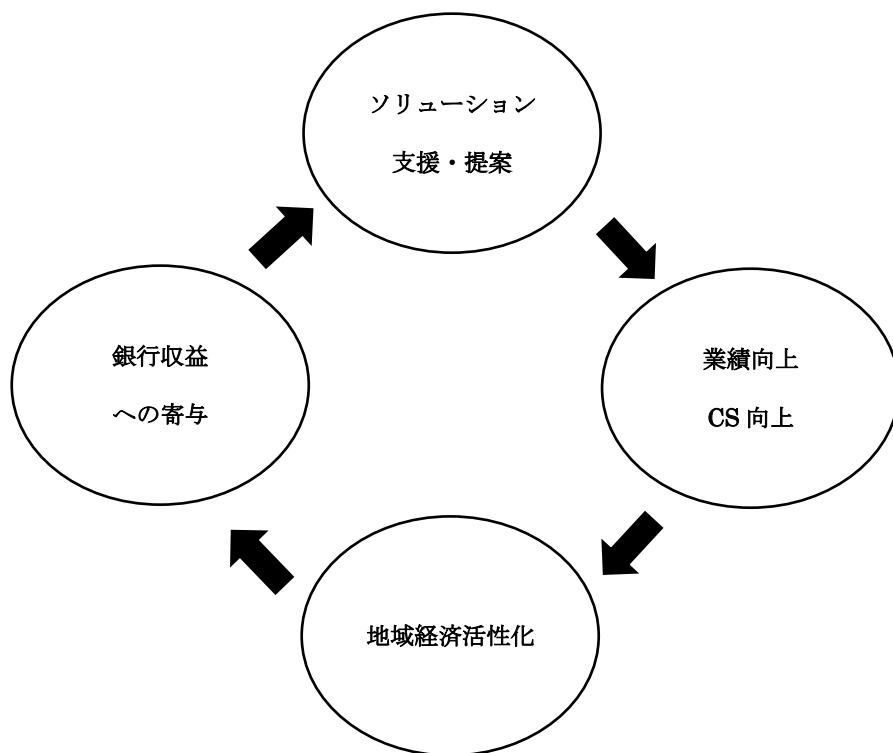
地域貢献活動は本業の支援のためであり、各取組みには一般的な費用を計上されている。

ex. ビジネスクラブの開催

人件費	会場利用代	通信費	印刷費
燃料費	講師費用	etc.	

## 4 地域貢献活動によるメリット

地域貢献活動により地域経済が活性化し、銀行収益への寄与につながり、それがソリューション支援や提案に活かされる。そして業績向上・CS 向上へとつながり、また地域が活性化するというサイクルが成り立つ。地域とともに栄えていく銀行だからこそ、そして常に地域の方々、お客様との距離が近い存在でありたいと思う考えがあるからこそこういったサイクルが成り立っていくのだと感じた。



## 5 今後の予定

今後、地域貢献策を増やしていくかどうかについて、「今後の地域貢献策についてはメニューを増やすことも必要だと思いますが、今ある施設の中でどれだけ貢献できるのが大事。銀行の発券業務が多岐に亘る中で、高度化・多様化するニーズに対し必要となれば適宜対応していきたいと思います。」とおっしゃっていた。

新しいことを始めていくことも大事だが、その前に今行っていることが十分に行えているのか、ということを考えていくことが大事だということを実感できた。いろいろと手を広げていくことでできることは増えていくかもしれないが、全力かつ十分に行うことができない可能性もある。そうならないために、現在の活動を社会の様々な変化に対応していくことが大事だと思った。

## 感想

今回の訪問で、佐賀共栄銀行が通常の業務を通していかに地域のために働きかけているのかを知ることができました。「地域に根ざした面倒見のいい銀行」という銀行像が実現されており、地域のお客様の立場になって業務に取り組む姿勢がとても素晴らしいと感じました。その結果、地域の活性化だけでなく業績向上というメリットにもつながっていて、意義のあることだと思いました。

また、とても印象に残っていることとして、明治維新 150 周年の事業で、佐賀の特産品を扱っているという話です。こういった事業で地域の魅力を発信することで、地域産業を支えているのだと再確認しました。

その他にも、寄付などといった別の形での地域貢献活動のお話も詳しくお聞きすることができ、とてもいい機会になりました。(児玉)

地域貢献活動というと、通常の業務とは別に何かボランティア活動などを行うことを連想します。しかし、今回のように、通常業務の中に地域貢献活動が組み込まれている企業もあるということを知ることができました。

「銀行業務のすべてが地域貢献につながっている」という言葉はまさに地域貢献を象徴している言葉だと感じました。また、地域貢献活動により地域が活性化し、よりよいまちづくりにつながるので良い循環が生まれるということも知ることができました。

そして今後の地域貢献活動について、私自身は多くのことを展開していくことが良いことと思っていました。しかしそれとは別に、現在の活動がしっかりと行われているか確認したうえでそれらの内容を充実させ、環境の変化などに対応していくこともよい方法だと感じました。横に広げるだけでなく、縦に注目することも重要だとわかりました。(赤坂)

# 損害保険ジャパン日本興亜 株式会社

訪問日：2017年12月6日

訪問者：石井菜生子・丸田萌子・中園優樹・前田真衣

報告者：中園優樹・前田真衣

## 会社概要

損害保険ジャパン日本興亜株式会社（以下、損保ジャパン日本興亜）は、「損害保険ジャパン」と「日本興亜損害保険」が2014年に合併して誕生した会社であり、SOMPOホールディングスグループの中核事業の一つを担っている。

同グループの事業内容は大きく4つに分かれており、①国内損保（火災、地震保険など）、②国内生保（医療保険、収入保障保険など）、③介護・ヘルスケア（施設介護、在宅介護および通所介護サービスなど）、④海外保険（32か国・地域228都市に保険事業を展開）で構成されている。①の国内損保事業が、全体の利益の5割を占める。

今回は、佐賀のどんどんの森に面している損保ジャパン日本興亜佐賀コールセンターを訪問した。





## 業務内容

今回訪問した損保ジャパン日本興亜佐賀コールセンターでは、3名の方にお話を伺った。

・ 2017年4月入社Aさん・・・入社後、研修期間が3か月あり、そのうちの1か月は座学研修である。また、スクリプトを見ながら話す練習など、トークスキルについて学んだ。主な業務内容としては、各種保険のお電話での住所変更依頼などに上司のサポートを受けながら対応している。お客様から「ありがとう」と感謝されることが一番のやりがい。

・ 2017年4月入社Bさん・・・入社後の研修が終わる7月頃から一人立ちをする。一人立ち前の業務内容は手続きのみであったが、一人立ち後は各種問い合わせにも対応するようになった。保険に関する様々な質問を受けるため、大変さが増した。お客様からの感謝はもちろん、新人が会社の夏祭りやクリスマス会などのお楽しみ会やゲームを企画することもやりがいになっている。

・ Cさん（マネージャー）・・・コールセンターをどうしていきたいかといった将来の姿を考えることや社員が有意義に仕事をするための社内環境の向上、人材育成などが主な仕事内容。育成した社員が徐々に成長していく姿や、社員が楽しんで仕事をしているのを見ることがやりがい。

お客様からの感謝をやりがいと感じられている方が多く、これはお客様と直接関わることができるコールセンターならではの魅力だと感じた。また、社員が成長する姿を見るのがやりがいとされていることから、人材育成に力を入れていることが分かる。

## 地域貢献活動

### 1 活動内容

SOMPOホールディングスグループでは、社会的課題の解決と同グループの成長の両方を目指し、特に本業を通じたCSRの取り組みに力を入れている。

同グループでは、①防災・減災への取り組み、②健康・福祉への貢献、③地球環境問題への対応、④よりよいコミュニティ・社会づくり、⑤ダイバーシティの推進・啓発、をCSRの5つの重点課題とし、これらの課題をもとに世界中でCSRの取り組みを行っている。

また、佐賀の損保ジャパン日本興亜コールセンターでは、「地域の方々にも支持される職場を目指す」といった会社の方針に沿って、以下のような地域貢献活動を行っている。

- ・ ベルマーク・プルタブを回収し、近隣の小学校へ寄付
- ・ どんどんの森周辺の清掃活動（月1回）

- ・ タイの学校支援プロジェクト（古着を回収し提供、留学支援）
- ・ 電気・水の使用量の削減（節電、節水）
- ・ バルーンフェスタでのボランティア活動

## 2 地域貢献活動に取り組む理由

佐賀コールセンターが上記の地域貢献活動を選んだ1番の理由は、全員が参加しやすいことである。例えばどんだんどの森周辺の清掃活動では、社員 200 人弱のうち毎回 20～30 人ほどが参加しており、メンバーは毎回変わっている。

その他の理由として、

- ・ どんだんどの森周辺の清掃活動→会社がどんだんどの森に面しているため、森内の環境向上が働く人の気持ちの良さにつながる。
- ・ バルーンフェスタでのボランティア活動→佐賀県や市とのつながりができるため、今後の仕事の幅が広がる。佐賀県の PR 活動のお手伝いができる（佐賀のことが大好きな社員にとっては有意義な活動）。

佐賀コールセンターは約 9 割が女性社員のため、育児や家事で忙しい方でも参加しやすいように、これらの活動が行われていると思う。このことから、社内環境の良さや、女性が働きやすいことが分かる。

## 3 地域貢献活動にかかった費用

取り組みには基本的に費用が掛からないものが多く、費用が掛かるものでも清掃に関しては清掃時に使う軍手や、ハサミくらいである。その他は、オリジナルジャンパーを作る際に費用がかかる。

## 4 地域貢献活動によるメリット

具体的なメリットとしては、社員のモチベーション（心の持ち方）である。奉仕や貢献しようという心を持つことでお客様に寄り添った対応ができる社員が増え、結果的に良い会社につながるのではないかと考えている。

## 5 今後の予定

地域貢献活動の範囲を広げたとしても実行できないと意味がないため、今のところ増やす予定はなく、現在取り組んでいることを中心に継続していきたいと考えている。

## 感想

今回、損保ジャパン日本興亜佐賀コールセンターを訪問させていただいて私が一番驚いたことは、女性社員の多さです。全社員のうち 90 パーセント以上が女性で、就職活動の際にも女性が受けに来ることが多いけれど、男性と採用基準が異なっているわけではないということです。

女性社員が多い理由としては、女性が役職（管理職）に多く就いていることや、結婚・出産・育児に関してきちんと体制が整っていることが考えられます。また、出産後も 100 パーセントの割合で仕事に復帰されており、働きやすいということが分かりました。「当たり前のことのようにやっていることだが、他の所より進んでいるのかもしれない。だからこそこれから先は男性のサポートが必要となってくる」ということを伺い、これから先の男性の助けを重視しているところを目の当たりにして、これからは女性が男性を支えるのが当然というのはなくなっていくのだなとうれしく感じました。

男女に優越をつけることなく、互いに助け合っていける社会が当たり前になるといいなと思います。

毎月の清掃活動にはだいたい 20~30 人は参加されており、清掃活動に積極的に参加している社員は、仕事にも積極的なことが多いということです。ただ、子育てやシフトの関係で参加したくても参加できない社員もいるということです。

地域貢献活動の内容は、社員みんなが参加しやすいものであることや、佐賀のイベントなどに合わせて行うこともあり、社員も楽しめる形であると思いました。このように社員が一致団結して地域貢献をすることは、地域の方との交流を持つこともでき、また、社員のモチベーションや会社のこれからにつながっていくのだと改めて感じました。

